

かつしか知つ得メモ

こんげつ しょくざい
今月の食材
そくめん ひや むぎ

素麺・冷麦

ちが
素麺と冷麦の違いは...?

むかし ふと ちが くべつ
昔は麺の太さの違いで区別していたが、現在は日本
のうりんきかく じやす きじゅん き
農林規格 (JAS 規格) で基準が決められている。

機械麺：機械で帯状にして作る素麺、冷麦

素麺は、直 径 1.3 ミリ未満

冷麦は、直 径 1.3 ミリ以上～1.7 ミリ未満

手延麺：素麺も冷麦も同基準

直径が 1.7 ミリ未満、
まる棒上に成形したもの



へいあんじだい しょもつ えんぎしき
平安時代の書物 (延喜式) に、行事食として七夕に素麺を食
べることが書かれています。無病息災を願う風習のひとつ。
これから時期、暑さで食欲が減退する時にぴったりです!



食べ方のいろいろ...!

ひ 冷やし素麺：茹でて、流水で冷やし、よく洗ってぬ
めりをとり、麺つゆにつけて食べる。

なが 流し素麺 (そうめん流し)：竹製の櫛を使って素麺を
流し、箸ですくって麺つゆにつけて食べる。

たい 鰯素麺：冷やした素麺に鯷の煮物を添えて食べる。

サラダ素麺：素麺の上にトマトやレタス等のサラダの
具を盛り付け、ドレッシングをかけて食べる。

にゅうめん：茹でた麺に熱いつゆをかけたり、汁で煮
込んで食べる。「煮麺」(にゅうめん)



■問い合わせ先：葛飾区健康部 健康づくり課 03(3602)1268

■作成協力：東京聖栄大学 管理栄養学科

* 禁無断転載・使用

この印刷物は印刷用の紙ヘリサイクルできます。

かつしか知つ得メモ

ご当地シリーズ【29】

茨城県



水戸納豆



水戸の納豆は 1083年に源義家
がおうしゅう おうしゅう どちゅう
がおうしゅう 向かう途中、水戸のとある豪族の屋敷に泊まつた時に、飼として馬に与えた煮豆の残りから納豆
が出来たと言われている。今では、細かく刻んだ切干大根が入っている「そぼろ納豆」、納豆を干した「ほし納豆」もあり、古くて新しい食品。

しそくせいかつ しゅしょく しゅさい
食生活は、主食、主菜、
ふくさい きほん しょくじ
副菜を基本に、食事の
バランスを！

19日は食育の日



やく きろめーとる なが かいがんせん ひろ なつ おおあらいまちかいいすいようじょう
約190 km の長い海岸線が広がり、夏は大洗町海水浴場が
にぎわう。県南部に位置する牛久市には、ギネスブック登録
の牛久大仏(全長が 120m)がある。海山の自然の産物を利用
した「あんこうのどぶ汁」、「凍みこんにゃくの含め煮」、「ガ
リガリなます」など郷土料理も豊富である。

干し芋



サツマイモを蒸して
乾燥させた食品で、
茨城県の特産品。

正式名「甘藷蒸切干」だが「乾燥芋」「きっぽし」「いもかち」とも呼ばれる。干し芋の表面の白い粉は、芋の糖分が変化したものでカビでは無い。

あんこう鍋

「西のフグ(河豚)、東のアンコウ(鮓鱈)」と称されている高級魚。特に春先の産卵に向け肝が肥大する 12~2月が旬。海のフォアグラとも称される。深海魚のため、身が柔らかく「吊るし切り」と呼ばれる方法で捌かれる。